

写真には表現する力がある。時空を遙かに越える記憶。写真家の熱い眼差し。感性のゆらぎ。

高野 経将 今昔物語 -京都四条-

Takano Nobuyuki

ここは四条河原町の交差点 白線で描かれた横断歩道は過ぎた時間への階段 そっと足をのせてください 20年前の時間に近づきます 日本写真学園研究科で写真コーディネーターの本多進次氏に師事。林忠彦氏の助手を経て、ルポルタージュ写真作家として独立。

写真集「川の辺の町・京都」

(社)日本写真協会、日本写真芸術学会、日本写真作家協会会員

〒300-1158 稲敷郡阿見町住吉2-5-65 TEL&FAX 0298-42-4172

石川 典人 SOUL

Ishikawa Michito

これイイと思った時に思うように撮れないカメラ。便利な世の中にあってもちょっと不便もイイかもしれません。なぜなら必死になるイイ機会だから。

だから心が躍ります!

東京工芸大学短期大学部写真応用科卒業

(社)日本広告写真家協会会員 石川写真 〒309-1211

桜川市岩瀬17 TEL 0296-75-2403 FAX 0296-76-0868

斉藤 佳代子 6 years old

Saitoh Kayoko

この世に生を受けてまだ6年の少女。彼女はイギリス人の父と日本人の母を持ち、英語と日本語を巧みに使い分ける。母親は私の友人で、彼女が生まれた時からずっと見てきたが、なかなか気を許してはくれない。

とってもシャイだけど、ほんとは明るくておおらかな女の子。最近、ふと大人の女性を感じることもある。そんな彼女の魅力を表現してみた。

STUDIO MONO (スタジオ モノ)

〒312-0021ひたちなか市三反田3391-2 TEL&FAX 029-212-3184

嶋田 孝和 縄文の記憶

Shimada Kowa

激烈に表現された土器、表情豊かな土面、祭礼に使われたであろう巨大なイワクラ(石座)。それらにじかに触れると、ドクドク、ドクドクと私の中の血の奥底から、太鼓の鼓舞音のように燃える魂の叫びが湧き上がってくる。その感情に導かれるまま、気がつくと東北に旅立っていた。これは、私の中の血の心象風景である。

windscape studio

〒310-0903 水戸市堀町1135-42 TEL 029-252-8356

富山 剛 smile smile smile

Tomiyama Tsuyoshi

美しい花を見つけた時はいかに自分のイメージを表現できるか考えながら撮っている。それは子供の頃、時間も忘れ夢中になって画用紙に好きな絵を描いていたあの感覚に近い。花はとても繊細ですぐに壊れてしまいそうだがその儂さが美しさを増しているように思える。綺麗な色、表面的な美しさよりその花の優しさ、儂さをとらえられるよう心がけている。花には人の心を癒す特別な力があると思う。

常陸大宮市上岩瀬1095-1 TEL 0295-53-9181

及川 隆史 Stop! 瞬きの時間に

Oikawa Takashi

高校時代、自校の野球部の試合を撮りに行った。たまたま撮れた本塁クロスプレーの1枚の写真。私のカメラだけが捉えた何百分の1秒の世界は、当時、校内でちょっとした話題になった。

写真への興味・写真の楽しさを知った原点に立ち戻り、一瞬の時間を表現する写真を撮影してみた。

(社)日本広告写真家協会会員 フォトスペースオイカワ

〒319-1114那珂郡東海村南台46-13 TEL&FAX 029-282-2480



稲田 浩男 憂幻

Inada Hiroo

写真はヒトの眼が見た様には絶対に写らない。

その特性を発展させ、「写真的技法」を駆逐することによって、ヒトの眼では見えない世界を更に進化させた映像で表現することが出来る。また、被写体の選択により、ヒトの眼に意外な印象を与える映像を創ることも出来る。今回は、そんな写真にチャレンジしてみた。

(社)日本広告写真家協会会員 (社)日本写真家協会会員

イナダスタジオ 笠間市南吉原408-3 TEL&FAX 0296-72-0765

長屋 陽 記憶へのパスポート'11 / 未来への記憶

Nagaya Yo Passport to the Memories '11 / For the Tomorrow

盛岡から海岸沿いの宮古市に向かった。東日本大震災発生からちょうど一ヶ月が経過しようとしていた。海に近づくにつれて視界に飛び込んでくる風景は、あり得ない物体があり得ない場所に、あり得ない形で散乱している世界。地表が波打ち、海が津波を武器にした時、人は無力だった。

IOC/国際オリンピック委員会指定フォトグラファー

YO PHOTO WORKS INTERNATIONAL

〒310-0851水戸市千波町2872-4-301 TEL 090-1763-1125

田澤 純 海に思う

Tazawa Jun

嬉しいとき 楽しいとき 恋をしたとき

苦しんだとき 迷ったとき 悩んだとき

光がキラキラしているとき 風が怒っているとき

神が降りてきそうなきとき いつも どんなきときも

海はやさしく迎えてくれる ときどき会いたくなる

(社)日本広告写真家協会会員 j studio

〒312-0063ひたちなか市田彦1435-12 TEL&FAX 029-276-0075

海老原 豊 IMPOSSIBLE IS NOTHING.

Ebihara Yutaka

長い間、勇気づけてくれる言葉がある。スポーツ用品の広告コピーだ。「不可能」とは自らの力で世界を切り拓くことを放棄した、臆病者の言葉だ。「不可能」とは、現状に甘んじるための言い訳にすぎない。「不可能」とは、事実ですらなく、単なる先入観だ。「不可能」とは、誰かに決めつけられることではない。「不可能」とは、通過点だ。「不可能」とは、可能性だ。「不可能」なんて、ありえない。

笠間市福原2205 (株)アートゾーン TEL 0296-74-2065

小沼 渉 nostalgia (ノスタルジア：郷愁)

Onuma Wataru

久しぶりに台湾の九份という街に出掛けてきた。いつもの事なのだが台湾に限らずアジアの田舎町を歩いていると強い郷愁の念にとりつかれてしまう。以前暮らしていた事があるのか?そんな事実は無い。それでも幼い時の記憶を探らずにはいられず思い返してみても現実に立ち返る。そんな気持ちこそこの街の風景で写真にしてみた。

(社)日本広告写真家協会会員 MOON LIGHT 小沼渉写真事務所

〒310-0836水戸市元吉田町1971-1 TEL&FAX 029-246-3241

沼田 淳子 光路

Numata Junko

一瞬立ち止まる時がある

何かのきっかけが教えてくれた、自分との時間

光の路は希望にも思え、憧れや安らぎを与えてくれる

すっとして、芯のしっかりしたなり

吸い込まれそうな、光の路をさがして

東京ビジュアルアーツ写真学科卒 (有)ファミリーフォート

〒310-0803水戸市城南1-7-8-第一ビル1F TEL 029-224-9200

